

令和8年度 大阪府立三国丘高等学校 定時制の課程 第76回 入学式式辞

まるで、今日の日を待ち構えていたように、桜の花が満開を迎え、春の訪れを感じさせるとともに、花冷えを思わせる今日、大阪府立三国丘高等学校 定時制の課程 第七十六回入学式を挙行できますことを、教職員一同、このうえない喜びを感じております。

本日は、ご多忙の中、多数のご来賓の方々にご臨席賜りましたことを、高いところからではありますが、心から御礼申しあげます。まことにありがとうございます。

さて、先ほど、三十六名の入学を許可しました。新入生の皆さんご入学おめでとうございます。皆さんは本日からの伝統ある大阪府立三国丘高等学校 定時制の課程 第七十六期生となりました。皆さんの入学を心から歓迎いたします。

また、保護者、関係者のみなさまにおかれましては、お子様の今日の晴れの日を迎えられたことは、ひとつの節目として安堵されていることと拝察いたします。教職員一同、心から入学生の方々の入学に際して、祝福いたします。

今日は、私ども教職員一同と、新入生の皆さん、保護者・関係者の皆さまとの、縁が生まれる日でもあります。これからの新たな生活に向かって、我々教職員一同、祝福の気持ちで迎えるとともに、皆さんの成長に寄与していくことを決意しております。

皆さんの様子を見てみると、緊張感と、未来への期待と不安にみちあふれた表情をうかがい知ることができます。この縁を大切に、ともに新たな未来を築いていきましょう。

さて、イソップ童話の、うさぎとかめの話をご存じですか。もちろん知っているよという人もいれば、うろ覚えという人もいます。もう一度振り返ると、

足の速いうさぎが、かめにかげっこを申し込みます。それを受けたかめはウサギと競争します。うさぎはあまりの速さにカメを残して走っていきます。ふとうさぎが後ろを振り返って、カメを見ると、カメははるか後方にいます。そこでウサギは、カメを見下して負けるわけがないと、余裕をみせて昼寝をしました。ところが、思いのほか熟睡してしまったウサギは、ふと眼を覚ますと、カメがゴールをしていることに気づき、悔しがった、というお話です。ここから教訓として「油断大敵」とか、「能力があっても慢心しない」「コツコツ努力していれば報われる」という内容が言われてきました。最近、新しい解釈が言われているのをご存じですか。

ウサギは、カメを意識しています。カメと自分の距離を見ています。一方カメは、ウサギのことは見向きもしないで自分のペースでゴールしました。

すなわち、ウサギはカメのことを意識していて、カメはまったくウサギのことを意識していなかったのです。そもそも、ウサギはカメよりも速いのはわかっているのです。でも、よりによって歩みの遅いカメと自分を比較しています。カメの行動を意識しています。一方カメはそんな比較なんて関係ありません。

カメは自分のペースで歩きました。他人を意識することで、自分のペースが乱れてしまいます。他人を意識するよりも、自分のペースで生きていくことが大切なんだ。という教訓が

あるということです。

おそらく、みなさんはさまざまな動機で本校を選ばれたことと思います。今までの状況をなんとかしたくて、新たなことに挑戦したいと思っていることと思います。目標をもって高校生活を過ごそうとする人、新たな自分を見つけたいと期待している人、自分の可能性を試したいと決意した人、高卒の資格をとりたいなあとと思っている人。とにかく学校へ通いたいと思っている人。さまざまな目的をもって本校に入ってきたと思います。今ここが、皆さんにとってのスタートラインです。皆さん一人ひとりによって、違うのです。一人ひとり、自分のペースで小さなことから解決できるようにしましょう。

本校では、「過去は変えられないが未来は変えられる」という強い意志をもって高校生活を過ごしてほしいと考えています。今までの自分は今までの自分です。過去はもう変えることはできません。でも、未来はいくらでも変えることはできます。今、皆さんの目の前には無限の可能性が広がっているのです。そして、カメのように、他人と比較するのではなく、自分が今、何をするのかということをしっかりと考えて、これからの高校生活を過ごしましょう。教職員一同、皆さんのサポートを全力でしていきます。皆さんの成長を寄り添いながら支えていきます。不安な時は遠慮なく相談してください。

保護者のみなさま、関係者のみなさま、改めてお子さまの入学を心よりお祝い申し上げます。今日まで限りない愛情を持って育ててこられ、時にはご心配やご苦勞があったことと思います。お子様の高校生活が健康で有意義なものとなるよう教職員一同取り組んでまいります。高校生活を始めると、つらいこともあるかと思いますが、そのような時、皆様方のあたたかいご支援ご指導が、何よりも生徒たちの励ましになると思います。そして、不安なことがあれば遠慮なく学校へご相談ください。生徒の皆さん一人ひとりが心身共に豊かに成長していくためにも、何卒ご支援賜りご協力の程よろしくお願いいたしまして、式辞といたします。

令和八年四月七日

大阪府立三国丘高等学校定時制の課程 准校長  
安達 武史